

<b>演題番号 5</b>	<b>コミュニケーション方法の工夫 ～笑顔が増えた1症例～</b>
<b>発表者</b>	庄原市立西城市民病院 准看護師 松室 克哉
<b>共同発表者</b>	藤岡 みずほ, 竹内 宏曙

対象の利用者は80歳代の女性。平成28年に角膜移植，令和2年に横行結腸双孔式増設術を行っている。利用者は視力障害および高度難聴を患っており，他者とのコミュニケーションが円滑にはかれず，入所当初から表情が険しい，大声を出す，生活援助に拒否的な発言が度々聞かれるといった状態であった。これらの原因として，生活環境の変化，コミュニケーションが円滑にはかれないことから生じる不安が原因ではないかと考えた。利用者が新たな生活環境に適応するためには，どのような関わりが必要であるか研究を通して明らかにした。

MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---